



「ストップ・ザ・無縁社会」 広がれ! 全県キャンペーン

<http://stop-muen.jp>

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの最新情報や、支え合いのメッセージをお伝えします。

TOPICS

みんなで支え合うまちづくり

三田市では、1月27日に「三田市社会福祉大会」を開催し、住民や福祉関係者など970名が参加しました。

マルチタレントのダニエル・カール氏による記念講演では、「がんばっぺ! オラの大好きな日本~人にやさしいまちづくり~」をテーマに、日本の良さ、日本人の謙虚さを語られ、「日本には素晴らしい事がたくさんあるので、それをもっと伝えていこう」と呼び掛けられました。

また、市内障害者支援事業所・グループによる“ふくしマルシェ”や、「災害救助犬とふれあおう」、「福祉用具を体験しよう」など、福祉を身近に感じ、家族で楽しめるイベントが実施されました。



「住民参加でまちづくり」を

芦屋市では、2月3日に地域フォーラムを開催し、約160人の市民らが参加しました。

講演会では、全国社会福祉協議会 民生部長 池上実氏から、「これからの地域福祉を考える」をテーマに講演いただき、「地域共生社会の実現のために、住民が自分自身の課題と捉え、取り組んでいくことが大切である」ことを確認しました。そして、阪神・淡路大震災では多くの人が隣近所で助け合ったという教訓で締めくくられ、地域の人と人とのつながりの大切さを再認識する貴重な機会となりました。

当日のコーラスに出演した幼稚園の保護者グループ代表からは、「住んでいる人が、優しく、思いやりがあって、困っている人にさっと声を掛け合える、そんな一人一人が芦屋ブランドを作っているのだと思います」という声を聞くこともできました。



「コミュニティカフェ」を通じて、交流・支え合いの輪が広がっています

住民同士の交流や支え合いの拠点となる「コミュニティカフェ」が、県内各地で住民主体の活動として取り組まれています。本年度、助成金を活用してコミュニティカフェの開設・拡充が図られています。

ふくふくサロン今津(西宮市)

誰でも気軽に立ち寄れるよう、分かりやすい看板を設置。中学生が拠点をイメージしてロゴを作成しました。

初めての人が一人で立ち寄るなど、地域の交流カフェとして親しまれています。



飯見元気プロジェクト運営委員会(宍粟市)

空き家の納屋を会場とするため、エアコンを新たに設置。地域住民が集まりやすい交流拠点となりました。

子どもや高齢者の会話と笑顔があふれる場となっています。



※上記のほかにも助成金を活用し、開設に向けた食器・調理器具、テーブル、椅子などの備品を購入する団体や、子どもや高齢者も参加しやすい環境を整えるために室内の改装・改修、トイレのバリアフリー化(手すりの設置)、冷暖房器具の設置、映写用スクリーンやコミュニケーション麻雀の購入などを行い、拠点整備・活動内容の充実を図っている団体もあります。